

EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー

2011.5.1

No.82

以前から慢性胃炎と言われていましたが、原因の一つと考えられる胃の中のピロリ菌の除菌を試みました。一度目は失敗で、二回目をしたあと結果を見ることと兼ねて胃カメラを飲みました。胃の状態はボチボチ、ピロリ菌除菌はまたしても失敗していたことが判明。三回目は保険も効かない、どの薬を使えばいいかも意見がいろいろあるそうで、結局ピロリ菌と共生することになりました。胃潰瘍や胃がんになるリスクは高まると言われていますが、いると必ずそうなるというわけではないので気をつけていくしかありません。

日本人は薬漬け、というのはよく聞く話です。薬を出せば出すほど医者や儲かる仕組みになっています。医者の立場から見ると、技術報酬が少ないために薬を出さないと病院が経営できないという日本医療の構造的な問題もあります。

医者にとって一番おいしい患者は、高血圧、糖尿病、心身症などの慢性疾患だそうです。それは命に直接関わらないので訴えられることが少なく、薬を投与し続けてもとがめられないからです。岡本裕という医学博士は病院にかかる患者の九割近い人は自分で治せるのではないかと、と言っています。脳溢血や心筋梗塞、進行した癌などは医者の力によって大きく好転した



最高の医者、最高の治療

ば根本的な解決にならないのです。薬に頼り続けることで、医者は儲かっても患者本人にとっては何の益になりませんし、かえって害になることもあるのです。

必要なのは医者の助けや一時的な投薬が必要な病か、自分で治せる病かを見分けることだといえます。困ったことに、見分けるのに時間をかけ、なるべく薬を控えるようにアドバイスしても医者は儲からないのです。最終的には医師の良心にかかっていると云えるでしょう。岡本氏は白衣を脱いで本音で付き合える医者や友だちになるようにアドバイスをしています。信頼できる医者の条件として①きっちりカテゴリー分けしてくれるか（自分で治せる病か医者が必要とする病か判別したり、専門家を紹介できること）②健康診断をきちんと判断してくれるか、ということだそうです。結果をうまく読み取れる人です。

さて、肉体の健康状態もさることながら、聖書は私たちの霊的な状態こそ「最重要課題」だといえます。人間の霊的な状態を適切に判断できるのは、創造主なる神のみです。それをいい加減な人間に頼ることほど怖い事はありません。私たちは創造主のことばを聖書と捉えています。聖書が信頼できる書物である

り治療に至ったりします。しかし、ほとんどの疾患は日常生活が原因で引き起こされるもので薬を飲んでも対処療法に過ぎません。生活を変えなければ

①人間の問題の原因は神から離れたことにある
「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができません。」 (ローマ六章二十三節)

神は祝福を与えたいと願われている方です。しかし、神から離れた（この状態を聖書は「罪」と表現しています。）人間に栄誉を与えたくても与えられなくなってしまう。

②このままの状態では、人間は自分の罪の中で
裁かれ、永遠の滅びを迎えることになる。

「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、…」 (ヘブル九章二十七節)
「人はその口にするあらゆるむだなことばについて、さばきの日には言い開きをしなければなりません。」 (マタイ十二章三十六節)

③神は、人間を救う計画を立てられ、聖書の中にその詳細を預言し、実行に移された。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」 (ヨハネ三章十六節)

「自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。キリストの打ち傷のゆえに、あなたがたは、いやされたのです。」 (第一ペテロ二章二十四節)

聖書は自分の魂を自分で救える人はいない、と語ります。必要なのはそのことを見分けて、霊の専門家のアドバイスに耳を傾けることです。

合同公文教室

H

合同公文(月一回のホームスクーラー合同勉強会)に行きました。一時間みんなで勉強して、それから子供たちを連れて公園に行きました。久しぶりに思いっきり走り回ったような気がします。(その間、親たちはイチゴ大福作りをしていました。)

私が初めて合同公文に行ったときは、中学一年の時です。それからあつという間に五年が過ぎました。そのときはメンバーも大きく変わり、卒業していった方もおれば、新たに加わった方もたくさんおられます。そして今では三十人近い集まりとなりました。

ホームスクールの後輩たちがどんどん成長している姿を見ることは、とてもうれしいです。まだまだわがままばかり言ったり、すぐ泣いたり、拗ねてしまう子もいるけど、これからどんどん成長していくことを思うと、楽しみです。

また、小さい子供たちと遊ぶだけでなく、同世代の友達とも交わりを持つことができます。今年、私は受験生です。この合同公文の仲間でも私を含め三人が受験します。ホームスクーラーでは今まであまり例のない「大学受験」に挑戦するというのもあって、分からないことだらけで不安とかプレッシャーがいろいろあります。でもその中で、いい勉強方法があれば教えあったり、お互い刺激しあい、励ましあったりしながら進めています。五月から月に一度、一緒に勉強することも計画しています。

合同公文に来ている子供たち以外にも、たくさんの子供たちが自分と同じホームスクールで学んでいます。先を歩むものとして、良き模範となっていけたらいいな、と思っています。

最も有名な賛美歌「アメージンググレイス」を作曲した元奴隷船船長のジョン・ニュートンと国会議員ウィルバーフォースが手を組んで「奴隷貿易廃止法」を成立させるまでの苦闘を描いた映画です。華やかさはないですが胸にジーンとくる秀作です。↓



いよいよとしました！ 行事報告

四月

四日

十二日

十六日

十八日

二十八日

三十日

進級式
絵画教室

「色のイメージで描こう」

バイブルサークル・バーベキュー

映画「アメージング・グレイス」観賞

「色」観賞

合同公文教室と

いちご大福作り

玄関前木の剪定作業

ホームスクール八年目

R

四月でホームスクール八年目に入りました。私は六年生に進級しました。

去年一年間はすごく早く感じました。勉強も難しかったです。でも、六年生になったらもつと勉強する量も増えるし、難しくなっていくと思います。大変だなと思いますが、お兄ちゃんやお姉ちゃんもうやってきたことなので、私もがんばろうと思います。

英語は、Grape seedという教材で勉強するようになりました。発音が上手にできるように一生懸命に英語を聞きたいです。そして会話できるようにになりたいです。勉強のための英語ではなく、学んだ英語を活用しているいろいろな国の人と話してみたいです。

私は、本を読むのが苦手です。でも今は、「大草原の小さな家」を読むことに挑戦しています。始めは、全部は読めるか心配でしたが、今はすごくおもしろく読めています。次は「赤毛のアンシリーズ」読んでいこうと思っています。

日曜学校はあと、一年です。最後のキャンプになるので、今から楽しみにしています。

それから、ホームスクールでしか学べない、神さまのことをしっかり学んでいきたいです。

編集後記

転職して一年過ぎました。その感慨に浸る暇もなく四月の日曜日はほとんどが他の教会での働きとなりました。遠く山口県宇部まで「コル・シャローム」で遠征し、いろいろな経験をさせていただきました。家族力を合わせて主の働きに邁進でき、感謝です。